

介護支援専門員実務研修

第17章

研修全体を振り返っての
意見交換、講評及び
ネットワーク作り

本科目の目的と修得目標

p417
P419

無断複写・転載を禁ずる

目的

研修全体を通じた振り返りを行うことで、今後の学習課題を認識し、自己研鑽の意欲を高める。
また、研修受講者間でのネットワークの構築を図る。

修得目標

- ①受講を通しての自らの今後の学習課題・目標の設定を実施できる。
- ②研修を通じ、自分の活動意欲の向上を実施できる。
- ③学習課題を基にケアマネジメントプロセスを実施できる。
- ④自己の介護支援専門員としての活動の準備を実施できる。
- ⑤受講者間のネットワークの構築を実施できる。

1 今後の学習課題・目標の設定等について

1) 評価の考え方

研修を通じて修得したことを確認したうえで、自己の今後の活動にフィードバックし、自信を持って実務に必要な能力を獲得することが目標であり、現時点で達成できていないことを把握し、今後の実践につなげるために評価を実施する。

介護支援専門員実務研修ガイドライン(案)
平成27年3月厚生労働省

2) 研修記録シートを用いた評価の考え方

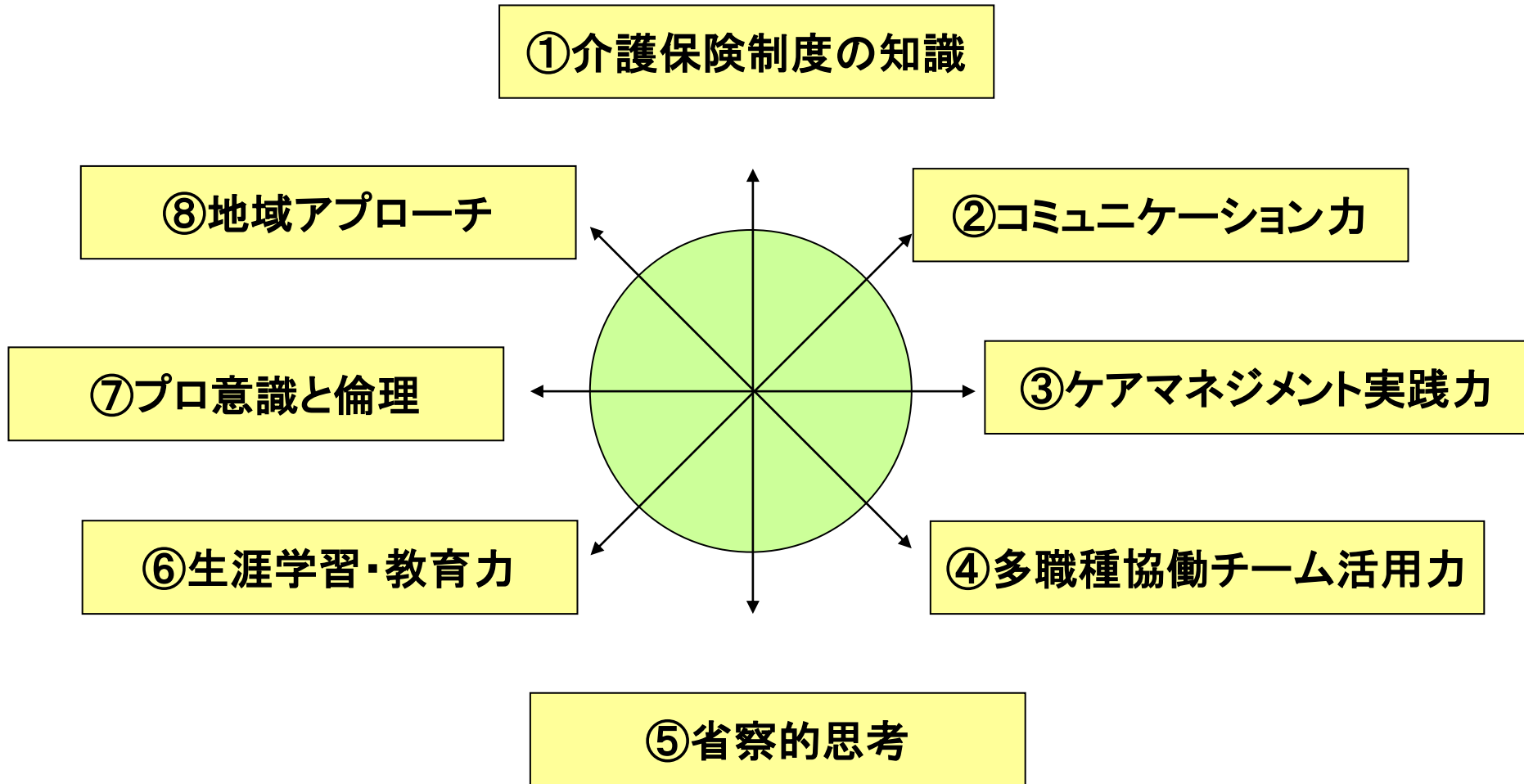
- ・受講前には研修記録シート1により、受講に当たっての目標を事業所管理者等とともに設定し、また研修記録シート2により、各課目で学ぶ項目に対する自己評価を行うことで、研修で学ぶべきことを明確化する。
- ・受講後、実践後には、設定した目標に対する達成度を振り返ることで、さらなる資質向上への目標の設定に活用する。また、継続的な自己評価により、自身の不足する分野を認識するなど、学習課題の明確化に活用する。

【演習シート17-①】P420

- 今後の学習課題・目標を設定する。
- 自分の活動意欲の向上を図る方法を明確にする。
- 自立支援に資するケアマネジメントを実践するためのポイントを明確にする。
- 介護支援専門員としての活動の準備をする。

2 介護支援専門員研修のアウトカム

無断複写・転載を禁ずる



研修各課程における受講者像

		研修課程				
		実務	専門Ⅰ	専門Ⅱ	主任	主任更新
介護支援専門員育成のアウトカム項目	①介護保険制度の知識	部分的	部分的	全体的	専門的	専門的
	②コミュニケーション力	部分的	単純な事例	複雑な事例	支援困難事例	支援困難事例
	③ケアマネジメント実践力	経験不足	部分的	全体的	全体的	全体的
	④多職種協働チーム活用力	経験不足	未熟	部分的	包括的	包括的
	⑤省察的思考力	未熟	不十分	多面的	多面的	多面的
	⑥生涯学習力	未熟	不十分	意欲的	指導的	指導的
	⑦プロ意識と倫理	未熟	未熟	不十分	実践的	実践的
	⑧地域アプローチ	未熟	未熟	不十分	試行的	政策提言

最短10年



出典：介護支援専門員専門研修ガイドライン（平成28年11月）

1 ネットワークの必要性

- 個人での自己研さんや、スキルの向上には限界がある。
- 職場環境等により実践の場での経験に差が生じやすく経験数も限られる。
- 悩みや課題を抱え込んだり、自信が持てないとき孤立してしまう。
- 自身のケアマネジメントを振り返る機会など個人の研鑽機会に委ねられてしまう。

1 【演習17】

○ネットワークに期待する機能

2 受講者間のネットワークの構築

- 業務に対するアドバイスや客観的な意見が得られる。
- 自分自身の考え方やキャリアに対するアドバイスや経験則が得られる。
- 皆と同じような苦労や努力している事実を知り、精神的な支えや刺激が得られる。
- 利用者の紹介に繋がる可能性がある。

2 【演習17】

- ネットワークの構築方法
- ネットワーク維持の仕組み

振り返りとまとめ

振り返りのポイント

- 1 学習課題・目標を明確にし、自己研鑽を積み重ねていくことの重要性
- 2 自己のスキルアップを図り、利用者の自立支援に役立つケアマネジメントを目指すために、ネットワークを活用することの有用性